



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月11日

上場会社名 アイエクス・ナレッジ株式会社  
コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員  
半期報告書提出予定日 2024年11月11日

上場取引所 東

(氏名) 安藤 文男  
(氏名) 中谷 彰宏

TEL 03-6400-7000

配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,114	1.5	935	7.2	980	6.8	667	8.5
2024年3月期中間期	10,948		872		918		615	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 648百万円 (15.2%) 2024年3月期中間期 765百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	69.83	
2024年3月期中間期	63.77	

注) 2023年3月期末より連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載を省略しております。  
2024年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,053	9,243	65.8
2024年3月期	13,652	8,813	64.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 9,243百万円 2024年3月期 8,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		30.00	30.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭(誕生25周年記念配当)

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,231	2.2	1,752	5.9	1,817	4.5	1,216	4.6	127.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	10,800,000 株	2024年3月期	10,800,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,235,856 株	2024年3月期	1,238,465 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	9,561,367 株	2024年3月期中間期	9,650,423 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

※ 当社は、以下のとおりに投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2024年11月26日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が見られ、インバウンド需要をはじめとする消費の回復等により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、為替動向や地政学的リスク等による物価高騰などの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況にあります。

国内の情報サービス市場におきましては、企業のビジネス変革や働き方改革に向けたデジタル化(DX)の取り組みが継続しており、それを支えるIT需要は堅調に推移しました。しかしながら、経済環境の先行きには不透明感が残っており、企業のIT投資への影響を注視していく必要があります。

このような環境において当社グループは、共創によりITと社会を繋ぎ豊かな未来を創造すべくグループ一丸となった経営体制を構築していく企業風土の醸成を目的としたグループパーパス「社会とITの未来をともにつなぐ(Connecting people one world)」を制定いたしました。このグループパーパスの下、「中核事業の拡大」「次期成長事業の創出」「事業基盤の強化」を3本柱とした中期経営方針に、企業価値向上に資する人的資本などの非財務の視点を加え、財務・非財務統合のサステナビリティ経営によりケイパビリティの拡大に取り組んでまいりました。

具体的には、当社専門部隊による社内横断的な人材育成や業務支援を通じたクラウドネイティブな開発への対応力の強化に加え、当社グループとしての営業体制の強化やパートナー企業との連携強化により多様化する顧客ニーズに対応し、中核事業の拡大に取り組んでまいりました。また、顧客やパートナー企業との共創を通じて、デジタル先端技術を活用したビジネスイノベーションの取り組みを進めてまいりました。さらに、従前から取り組んできている事業提携・M&Aによる事業投資を中長期的な事業基盤の強化と位置づけ、更なる取り組みを推進してまいりました。

当中間連結会計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステムインテグレーションサービスでは大手ベンダー経由の金融関連システム開発案件や社会公共関連システム開発案件が、またシステムマネジメントサービスにおいては、大手ベンダー経由の基盤・環境構築案件が堅調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、11,114百万円(前年同期比1.5%増)となりました。利益面は、不採算案件による損失の計上があったものの、売上高の増加に加え、継続的な販売費及び一般管理費抑制に取り組んだ結果、営業利益935百万円(前年同期比7.2%増)、経常利益980百万円(前年同期比6.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益667百万円(前年同期比8.5%増)をそれぞれ計上しました。

なお、2024年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、比較情報における前中間連結会計期間の各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は14,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ400百万円増加しました。これは主に「現金及び預金」の増加315百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加117百万円によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は4,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の増加181百万円、「未払金」の減少176百万円、「未払法人税等」の増加160百万円、「退職給付に係る負債」の減少87百万円、「その他」に含まれる「預り金」の減少113百万円によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は9,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加380百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.6%から65.8%となっております。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ315百万円(5.5%)増加し、当中間連結会計期間末には6,089百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は639百万円(対前年同期比15.0%増)となりました。

これは主に収入では税金等調整前中間純利益の計上980百万円、賞与引当金の増加181百万円であり、支出では未払金の減少178百万円、その他の負債の減少166百万円、法人税等の支払による支出152百万円、売上債権の増加117百万円を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9百万円(前年同期は使用した資金0百万円)となりました。

これは主に有価証券の取得による支出6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は315百万円(対前年同期比0.8%減)となりました。

これは配当金の支払額285百万円、長期借入金の返済による支出30百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね2024年5月10日に公表しました連結業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,798,941	6,114,356
受取手形、売掛金及び契約資産	3,512,203	3,629,332
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	-	1,134
その他	189,406	142,875
貸倒引当金	△225	△225
流動資産合計	9,510,326	9,897,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	78,737	74,852
土地	116,992	116,992
その他(純額)	12,656	12,186
有形固定資産合計	208,386	204,031
無形固定資産		
ソフトウェア	57,556	44,184
のれん	137,129	125,702
顧客関連資産	133,714	122,571
その他	8,835	8,835
無形固定資産合計	337,235	301,293
投資その他の資産		
投資有価証券	2,672,076	2,744,502
繰延税金資産	659,820	638,755
その他	264,405	266,984
投資その他の資産合計	3,596,302	3,650,243
固定資産合計	4,141,924	4,155,567
資産合計	13,652,250	14,053,041

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	800,520	863,314
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	367,777	191,132
未払法人税等	207,864	367,972
賞与引当金	1,130,318	1,311,989
役員賞与引当金	37,625	-
受注損失引当金	62,063	28,436
その他	469,649	405,151
流動負債合計	3,135,818	3,227,997
固定負債		
長期借入金	140,000	110,000
退職給付に係る負債	1,428,060	1,340,334
繰延税金負債	40,125	36,270
資産除去債務	65,275	65,321
その他	29,800	29,800
固定負債合計	1,703,260	1,581,726
負債合計	4,839,078	4,809,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,106,558	1,106,752
利益剰余金	6,106,689	6,487,512
自己株式	△633,730	△632,329
株主資本合計	7,760,415	8,142,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878,016	923,428
退職給付に係る調整累計額	174,739	177,056
その他の包括利益累計額合計	1,052,756	1,100,485
純資産合計	8,813,171	9,243,317
負債純資産合計	13,652,250	14,053,041

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,948,569	11,114,321
売上原価	8,712,396	8,824,295
売上総利益	2,236,172	2,290,025
販売費及び一般管理費	1,363,593	1,354,511
営業利益	872,579	935,513
営業外収益		
受取利息	3,606	3,076
受取配当金	28,234	37,990
為替差益	7,473	-
持分法による投資利益	3,209	3,863
雑収入	4,085	5,211
営業外収益合計	46,610	50,142
営業外費用		
支払利息	634	594
為替差損	-	4,110
雑損失	9	51
営業外費用合計	643	4,756
経常利益	918,545	980,898
特別利益		
固定資産売却益	-	5
特別利益合計	-	5
特別損失		
固定資産廃棄損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前中間純利益	918,545	980,904
法人税等	303,186	313,236
中間純利益	615,359	667,668
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	615,359	667,668



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	615,359	667,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146,087	△21,327
退職給付に係る調整額	3,642	2,317
その他の包括利益合計	149,730	△19,009
中間包括利益	765,089	648,658
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	765,089	648,658
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	918,545	980,904
減価償却費	21,415	20,461
のれん償却額	11,427	11,427
顧客関連資産償却額	11,142	11,142
株式報酬費用	2,662	1,774
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△63,799	△84,385
賞与引当金の増減額(△は減少)	109,823	181,671
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△43,706	△33,626
受取利息及び受取配当金	△31,840	△41,066
支払利息	634	594
為替差損益(△は益)	△7,473	4,110
持分法による投資損益(△は益)	△3,209	△3,863
固定資産売却損益(△は益)	-	△5
固定資産廃棄損	-	0
売上債権の増減額(△は増加)	55,605	△117,129
棚卸資産の増減額(△は増加)	440	△1,134
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,929	62,794
未払金の増減額(△は減少)	△13,452	△178,332
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,555	59,362
その他の資産の増減額(△は増加)	45,321	43,779
その他の負債の増減額(△は減少)	△26,779	△166,022
小計	909,272	752,455
利息及び配当金の受取額	20,266	40,539
利息の支払額	△634	△594
法人税等の支払額	△372,296	△152,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,608	639,953
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	64,436	-
有価証券の取得による支出	△130,444	△6,723
有価証券の売却による収入	64,982	-
固定資産の取得による支出	△181	△640
固定資産の売却による収入	5	5
その他の支出	△210	△2,246
その他の収入	769	403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642	△9,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	-	△179
配当金の支払額	△287,903	△285,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,903	△315,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	285	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	238,348	315,414
現金及び現金同等物の期首残高	5,094,158	5,773,941
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,332,506	6,089,356

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。